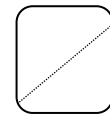


単語 呼応の副詞 文を作る ②



次の呼応の副詞つぎ こおう ぶくしを使って、文を作りましょう。

(例) 「けっして〜ない」

どんなことがあっても、わたしは**けっしてあきらめない**。

① 「少しも〜ない」

② 「どうして〜か」

③ 「おそらく〜だろう」

④ 「どつて〜べからぬなら」

⑤ 「必ずしも〜かぎらない」

解答例

- ① 今日は少しも寒くない。
- ② 彼はどうしても来ないのか。
- ③ 明日はおそらく雨だろう。
- ④ ぼくの方ではとうてい解くことができない。
- ⑤ 必ずしも全員が来るとはかぎらない。